

既製靴から個人のための靴づくりへ



宮城興業を代表するパーソナルオーダーブランド。荒井弘史代表が「Re-Born Project」として注力する注目ラインの「SQシリーズ」だ。従来のESデザインを継承しながら、現代的に洗練されたスタイルへと昇華されている。パーソナルオーダー参考価格5万6100円～

【フィッティングしてつくり込む】足と対話して、ベストな一足をつくる 個性を伸ばすパーソナルメイド“和創良靴”

“日本人が作り出す良い靴”を原点に、一人ひとりの足に合わせて一足を組み立てる和創良靴。豊富な履き合わせに加え、多彩なデザインや素材から、自分だけのベストを導く。

KEYWORD: 自分らしさを、選び抜く

一人ひとりの足に寄り添う「本来の革靴」を求めて

一方の「和創良靴」は、既製靴を起点にするのではなく、履く人の足型と実際に履いたときの感覚を起点に組み立てる「パーソナルメイド」だ。既製品を持たないオーダーシステムで、特約店に用意されたゲージ靴を履き、左右それぞれサイズやウィズを確認。100通り以上の履き合わせをもとに、必要な「乗せ甲」で細部を整え、デザインや素材、底材まで選んでいく。ブリティッシュだけでなく、アメリカンやイタリアンなどスタイルの選択幅も幅広い。

荒井代表が大切にしているのは、数値だけでフィットを判断しないことだ。「同じ寸法、同じ形の足でも、同じサイズの靴が合うとは限りません。強めの締め付けがいい人もいれば、不快に感じる人もいます。寸法は僕の中では要素として3割ぐらいで、体質や好みなど、ほかの要素も大きいと思っています。だからこそ、測るだけでなく、実際に履き、感覚を確かめながらフィットを詰めていく。

「まず、その人の足にきちんと合っていること。そして履き込むほど自分の足に馴染み、経年によって魅力が増していくこと。それが本来の革靴だと思えます」。荒井代表の言葉に、和創良靴が目指すパーソナルメイドの本質がある。

宮城興業のパーソナルオーダー靴

人の足は一人ひとり違う。ならば革靴も、本来はもっとパーソナルな存在であるべきだ。既製靴を起点に自分仕様へ仕立てる「MIYAGI KOGYO」、足との対話からベストを導く「和創良靴」。宮城興業が提案する2つのオーダーサービスから、“本来の革靴”のあり方を考える。



特約店でゲージ靴を試着し、ローファー8型、ラウンド12型から選択。17サイズ×D・E・Fの3ウィズ、2種の本型から組み合わせを決め革や仕様を選ぶ。「乗せ甲」で微調整し、履き心地を確かめながら自分仕様へ近づける。パーソナルオーダー参考価格9万4600円～

【スタイルから選ぶ】既製靴の美学を、自分の足にのせて “MIYAGI KOGYO”のカスタムメイドという選択

“ブリティッシュトラッドの日本的解釈”を磨いてきたMIYAGI KOGYO。既製靴として完成された“型”をベースに、サイズやウィズ、素材を選び、自分の足に寄り添う一足へと仕立てる。

KEYWORD: 17サイズ×3ウィズ×2ラスト



ラウンドシリーズ ローファーシリーズ

英国仕込みの「型」をベースに自分仕様の一足を

MIYAGI KOGYOの「カスタムメイド」は、完成された靴を起点に、自分の足に合う一足へと近づけていくオーダーサービスだ。

背景にあるのは、1969年に英国の名門、バーカー社と結んだ技術・販売提携で培った、ブリティッシュトラッドの靴づくり。ローファー8型、ラウンド12型というブランドの定番デザインをベースに、サイズは4～12の17サイズ、ウィズはD・E・Fの3種類から選択。必要に応じて「乗せ甲」による微調整も加えられる。

荒井弘史代表は「僕らが大切にしているのは、靴そのものの完成度です。そのうえで、自分に合うサイズやウィズ、好みの革を選べる。カスタムメイドは、完成されたMIYAGI KOGYOの靴を、さらに自分の一足へ近づけるためのサービスなんです」と語る。さらに「MIYAGI KOGYOにはブリティッシュトラッドというルーツがあるので、何でも自由に作れるわけではありません。その「縛り」の中でオーダーしてもらいます」とも。

自由度の広さを競うのではなく、英国仕込みの「型」を崩さず、その靴を一人ひとりの足へと寄せていく。既製靴の美学とパーソナルなフィットをつなぐのが、このカスタムメイドなのである。

削ぎ落とした先の、エレガンス



No.110 UME III

ウメ

木型 PR761

製法 グッドイヤーウェルト

ソール レザー or ラバー

最高の理由

バックルをひとつだけ配した深いデザインが、足元をすっきりと上品に引き締めるシングルモンク。木型は右の「No.100 BENIBANA III」と同じ「PR761」で、足を無理に締めつけず、指先と踵の安定感を追求した設計だ。無駄な削ぎ落としたシンプルなデザインだけに、素材によって表情が大きく変わるのも魅力。カーフレザーを選べばスーツスタイルに気品を、起毛革なら休日のカジュアルスタイルに洒脱なこなれ感を添えてくれる。

パーソナルオーダー参考価格11万4400円



斬新なれど、クラシック



No.302 NOJIGIKU

ノジギク

木型 PR763

製法 グッドイヤーウェルト

ソール レザー or ラバー

最高の理由

アッパーにウイングチップとメダリオンを配し、タッセルを組み合わせた意匠が目玉の「NOJIGIKU」。デザインは斬新だが、顔立ちにはクラシックで、大人の威厳も取り入れやすい。木型には、長い歴史で培われた名匠の技術を、現代人の足型や歩き方に合わせてモディファイしたスリッポン専用「PR763」を採用。足を無理に拘束せず、指先で地面をしっかりと蹴り出せる面積を確保し、歩行を支える。パーソナルオーダー参考価格10万5800円

MIYAGI KOGYO

宮城興業

創業年 1941年 創業者 高橋明良 創業地 日本/宮城県仙台市

問い合わせ先 宮城興業 プライド事業部 ☎0238-59-1231

英国ノーサンプトンに匹敵する靴づくりを目指し、国内でいち早くグッドイヤーウェルト製法を導入。1941年創業の宮城興業は、英国仕込みの技術を礎に、日本人の足にフィットするドレス靴を追求してきた。その哲学を結晶させたパーソナルオーダーの自社ブランドが「MIYAGI KOGYO」だ。

No.100 BENIBANA III

ベニバナ

木型 PR761

製法 グッドイヤーウェルト

ソール レザー or ラバー

最高の理由

宮城興業の靴づくりの“基本”を凝縮した、内羽根ストレートチップ。「PR761」ラストは、日本人の足の形状や歩行を見据えたインサイドストレート設計。足を無理に拘束せず、指先で地面をしっかりと蹴り出せる面積を確保し、踵は安定して収まるよう設計されている。内外で履き口の高さを変え、踝への当たりにも配慮。さらに、革床材を立体成型したカウンターが踵を包み、保持力と復元性を高めている。小ぶりのキャップとバンブが描く、端正な顔立ちも魅力。英国仕込みの本格靴を日本人の足に合わせて磨き上げた、王道の一足だ。

パーソナルオーダー参考価格11万2200円



英国靴の正統を日本人の足へ



BRAND HISTORY

1941年、宮城県仙台市で創業した宮城興業は、終戦を機に現在の拠点である山形県南陽市へ移転。1969年、英国ノーサンプトンの紳士靴メーカー「A. BARKER & SONS LIMITED」と技術・販売提携を結んだことが大きな転機となる。本格的なグッドイヤーウェルト製法など、英国靴づくりの基礎を学びながら技術を磨き、日本人の足に寄り添う木型や独自の構造を追求。2007年には、“魂が宿る靴”を掲げ、自社名を冠したブランド「MIYAGI KOGYO」を始動した。

